

ら しん ばん 羅 針 盤



進路だより 第四号

平成 22 年 9 月 24 日(金)発行
福島県立双葉高等学校 進路指導部

去る 9 月 9 日(木)、1, 2 年生を対象に、本校では初めての試みとなる「大学 1 日体験入学」がいわき明星大学で実施されました。実際に大学の校舎施設で大学の先生から直接講義を受け、大学で学ぶことの魅力や楽しさを知って、進路意識を高め自分の将来の進路選択に役立てようというネライでおこなわれました。みなさんに提出してもらった講義に対するレポートを読ませていただきましたが(まだ全部には目を通してはいませんが)、大部分の生徒の皆さんが体験できて良かった旨を書いています。進路指導部としては、今後もこの企画を継続していきたいと考えています。



就職試験始まる

今年も昨年同様経済不況で非常に厳しい就職戦線の中、9 月 16 日から就職試験が始まりました。現在のところ、例年より少し多い 39 名(公務員希望を含む)の就職希望の生徒がいますが、各自夏休み中から学校に来た求人票やインターネットで自分の就職先を探し、休み明けからは履歴書の準備と人によっては数回の模擬面接等、就職内定を得るために必死の努力を重ねてきました。この時期はすでに試験が終わって結果待ちの人、これから試験の人というわけですが、学校としてはもちろん全員合格を願っています。ただ不幸にして不合格だった場合は、一刻も早く次の就職先を(場合によっては進学への進路変更も)探さなければならないことは頭に入れておく必要があると思います。

ぜひ知っておきたい受験用語

みなさんが実際に大学を受験する場合、気になることの一つに、「自分の受験しようとする大学は例年受験者が定員の何倍ぐらいで、今年はどうなるのだろう。」ということがあると思います。その時ぜひ注意して欲しいことに、「志願倍率」と「実質倍率」の違いがあります。以下にそれぞれの用語の意味を書きますので、ポイントを押さえてその違いを理解しておきましょう。

「志願倍率」

志願者数を合格者数で割った数値。私立大学・短期大学などでは、実際の競争倍率と大きく異なる場合が多いので「見かけの倍率」とも呼ばれている。志願倍率の数値にあまり惑わされないことが大切。

「実質倍率」

受験者数を合格者数で割った数値。この数値が実際の入試における競争倍率。私立大学・短期大学などでは併願受験者が多く、合格しても入学手続きをしない受験生があるために合格者を募集人数より多く発表するケースがほとんどで、志願倍率とは大きく異なり、志願倍率より数値はかなり低くなる。

3年生へ

就職希望者については前述したとおりですが、進学希望者にとっては受験戦線が本格化し(推薦入試希望者はその準備等で)、いよいよ正念場の時期に入ってきました。10 月 1 日からはセンター試験の出願も始まります。周囲の雰囲気に関わられず集中して受験勉強に励まなければなりません。現役生は、ここから努力次第では信じられないくらい伸びます。特に地歴・公民、理科はここから勝負です。

2年生へ

修学旅行目前ですが、その前にまずは中間考査です。心置きなく修学旅行を楽しむためにも、悔いのない成績を目指してしっかり勉強しましょう。修学旅行は一生に一度です。大いに楽しんでください。そして帰ってきたら、自分の進路についてより現実的に真剣に考え、その準備を始めましょう。修学旅行修了時点が受験体制のスタートと心得ておくことです。

1年生へ

文理選択でまだ迷っている人がいるのではないのでしょうか。あらためて自分で自分自身のことを知り把握することです。親、先生のアドバイスはもちろん大切ですが、最期は自分で決めなければなりません。「これを目指すので、私は文(理)系を選びました。」と言えるように。この機会に進学を希望する人は、大学入試について理解を深めるのもいいことです。(受験科目、難易度、センター試験の仕組み、推薦入試、一般入試等)